

# 磐城時報

福島縣磐城郡平町新屋町十四  
編輯兼發行人 岡田 弘成  
印刷 所 磐城郡平町新屋町十四  
福島縣磐城郡平町新屋町十四  
發行 行 磐城時報社  
一部金銀紙一ヶ月金銀紙五  
廣告料一ヶ月四角金銀紙五  
▲日刊（日曜祭日）休刊

## 公判開廷に先立ち

### 一般傍聴を禁止

#### 四丁目瀧川夫妻の 天理教不敬事件公判

過般大西愛次郎一派の天理研究ある。所の布教師として不敬事件で平署に檢舉された茨城縣北相馬郡小絹村杉平十六番地生れ當時平町四丁目四十一番地天理研究會布教師瀧川幸一郎（二七）同人内縁の妻瀧川木上郡賀郡真名子村生れ坂本ふく（三九）兩名に關する不敬事件の第一回公判は二十日正午から平支部に於て千葉裁判長係り武田檢察官、眞木東京市南兩辯護士出廷列席の上開廷兼てから保釋出獄を許されたる被告兩名は流石に人目を憚る態で出廷したが、開會に先立ち裁判長は一般の傍聴を禁止した。

## 教員検定試験問題

石城郡に於ける小學校検定試験問題は二十四日から平第一校で考へられた。問題は、  
一、圓の半と面積との關係をグラフに示す。  
二、八七五八一を某數にて除したるに三桁の商と剰余二を得たり而して此の除法の演算中商の百の位の數字を得たる時残り八三商の十の位の數字を得たる時残りは三九なりと其數を求めよ。  
三、圓の半と面積との關係をグラフに示す。  
四、バケツあり其の口径三〇厘米の徑十八厘米高さ十七厘米なり其の容量は幾立か、以上

## 靴屋追拂問題

### 三者三様の言分

平町米穀同業組合では工費六百圓を投じて驛前の共有地に輸出米共同検査所を建設したが同組合では事務所半分を平町柳町橋製靴店に一ヶ月二十圓の家賃を以て昭和二年九月貸與してゐた。この問題となり目下平町と組合と製靴店が三巴となり紛争中である、平町としては、米穀共同検査所は公益事業と認められたから無償で共有地を貸さう、製靴店では、

## 山中の強姦事件

### 二十九日公判

當時内郷村大字宮字宮の澤居住植木職大友良藏（三三）が去る八月六日午前八時頃好間村大字上好間字田代原の山道に於て美人である内郷村若松ヤス（一九）の通行を要し後方から首をしめて強姦せんとし負傷せしめて逃走した強姦致傷事件の公判は来る二十九日安齊辯護士出廷の上開廷する事と決定した。

## 自動車電柱に衝突

### 乗客一名負傷す

#### 運轉者は無免許

二十二日午後平町橋小路路地自動車部の平、小川間乗合第四七八號を運轉手佐藤彌之吉が運轉し川前村に至り運轉手が知人の家で休憩中助手加藤順一が無免許なるにも拘はらず乗客六名を乗せて同村五林地内を進行中誤つて車体を電柱に衝突せしめ乗客中の川前村字宇根尻杉本伊佐雄（三三）の顔面頸部に重傷を負はせたので目下取調中である。

## 子宮出血と其注意

醫學士 磐城共濟病院産婦人科部長 五十嵐雄二 述

落花流水にも言ひ知れぬ感傷を湧かす十四五才の頃から約三十年間婦人には定期的な子宮より出血を反復する、これを月經と云ふ生理的出血、何等願慮するを要せぬこと、は萬人周知のことである。しかし月經に就ても種々様々の異常もあつて到底一言でこれを盡せぬから之に就ては後日稿を改めて述べることとして茲には正しい月經以外の出血、即ち病的出血の種類とそれ

## 嚴正なる各位の御觀察に訴ふ

### 草野七五三之助

昨秋郡山市に於ける臨時縣組合役員會開催の際一營業者たる福島市富樫某が大なる失言をなした醜態を演じた後、富樫氏の失言を追窮せんとした私に對し公吏たる試験場員の一員が極力其黙止に努めた事があるが、その兩者は今回歩行を共にし地方支部を馳け廻り何等か宣傳に努むる事は甚だ以て奇怪至極な行動で、組合間の不和龜裂の因は茲に胚胎するものと思ふのであります。

## 銀行團の遠征選手

平銀行 山森、大坪、松田、川角、鈴木、端山、七十七銀行 山田、三浦、小岩、菅谷、佐藤、伊藤、細谷、百七銀行 草野、宗像

## 良善寺附近秋虫啼く

平町古鍛冶町良善寺境内の南側の斜面草むらに數千の鈴虫が中、秋の夜長を啼きまはしてゐる。常磐、磐城兩線の旅客が列車の窓にそのうつくし

## 子宮出血と其注意

就ての注意を書いて見ることとする。子宮出血にもこれを大別すると産科に關係あるものと純婦人科的出血との二つになる。産科の出血としては流産、早産、子宮外妊娠、葡萄胎、胎盤早期剝離等が主なるものである。流産 今迄毎月あつた月經が止つた、しかし別に身体に何も變調も現はれないので月

